



沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動中

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の活動状況を抜粋してご紹介します。

沖縄県地球温暖化防止活動推進員は、

沖縄県知事から委嘱を受け、県内で地球温暖化の現状及び地球温暖化対策に関する知識の普及並びに地球温暖化対策の推進を図るための活動を行っています！

令和 7 年度も出前講座を実施します！

沖縄県地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」と表記）は、県内の学校や自治会向けに「地球温暖化」をキーワードとして出前講座を展開中！「**沖縄にも地球温暖化の影響があるの？**」「**地球温暖化について知りたい**」、「**子ども会向けに講座してほしい！**」そのようなご依頼は、沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（次ページ下の「お問合せ」先）までご連絡ください。推進員がお応えいたします！！

活動事例1 石垣島海域「サンゴ礁での環境保全活動」

開催月：2025年 3 月と 6 月 推進員： 吉田 稔 さん

石垣島在住の吉田さんは、ボランティアダイバーによる世界共通のサンゴ礁の調査手法「リーフチェック」にチーム科学者として調査へ参加しました。その際、地球温暖化の影響で頻繁に白化現象が起きているサンゴ礁の現状について参加者と共有しました。参加者の多くが沖縄県のサンゴ礁について、海水温の上昇に伴う白化現象や生活排水等で状態が悪化している点を心配しています。ただ、海域によっては健全なサンゴ礁と回復力の高い地域もあることから、私たちが「出来ること」として、①現状を知ること ②節電、節水、省エネ活動など もサンゴ礁保全につながると吉田さんは話します。

また、石垣島東側のサンゴ礁域では、漁網等の海中ゴミの撤去とそれらを選別して有効利用の可能性を検討する業務にも携わっています。多くの離島では回収した海中ゴミは最終処分場に埋めているのが現状です。吉田さんは、諸外国で行われている海中ゴミの処理手法「海中ゴミをすべて小さくして接着剤で固め、建材や道路舗装材に再生する」という手法が、日本や沖縄においても導入できれば、ゴミの有効利用につながり、一石二鳥になると考えています。

吉田さんは、地球温暖化防止とサンゴ礁保全のためには、5～10年後に、石垣島の環境保全活動のリーダーとなれる人の育成が大切だと考えています。そのため、地元の子供達や島民一人ひとりがサンゴ礁域の海岸漂着ゴミや海中ゴミに興味・関心をもってもらえるよう、サンゴ礁保全活動を今後も継続する予定です。



調査の様子



サンゴに絡まった
海中ゴミ

活動事例2 石垣島から「陸と海の地球温暖化防止の取組紹介」

開催日：2024年 4 月～2025年 3 月 推進員（講師）：村田 法子 さん

石垣島在住の村田さんは、自給自足を目指す農業グループの一員として、無農薬・有機農業に取り組んでいます。2024年度の主な活動として、水牛と一緒に石垣島の伝統的農法を復活させるとともに、ベチバーを使った赤土流出防止や地域の小学校の総合学習の時間で、児童たちと一緒に米作り体験学習を展開しました。一本の稲穂から自分たちの手で採種した種籾が成長する様子を毎週丁寧に観察し、収穫期は、1人ずつ鎌を使って稲刈りをし、足踏み脱穀機や唐箕を使い収穫後の作業を経て、ようやく自分たちのお米を口にすることができました。この体験を通して、稲と水の関係、稲と田んぼの土の関係、田んぼの生き物観察など、子ども達自身が気付き、疑問に思うことを一緒に考えながら学んでいくことは、関わっている私たち大人の学びにも繋がる体験です。また気候変動による水不足や大雨などは、田んぼや畑の環境に大きな影響を与える為、ベチバーの植え付けや葉ガラ梱包も設置して赤土流出防止対策も始めました。（葉ガラ梱包：畑地と水路の間に、サトウキビの葉を束ねたものを並べて敷き詰める対策）

これらの取り組みを、地域の方々や子ども達と共に学び合いながら続けることで、私たちの日々の暮らしが、足元の土や海と深く繋がっていることを感じてもらい、興味・関心を持つ方が少しでも増えることに繋がればと村田さんは考えています。2025年も夏休み明けから子ども達と一緒に米づくりをスタートさせています。これらの活動の他、サンゴ礁保全を行う団体の事務局としても活動するパワフルな村田さんの活動はまだ続きます。



小学校での稲作準備



小学校での脱穀

「デコ活展開中」

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、スタートした国民運動「デコ活」。

二酸化炭素（CO₂）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む「デコ」と「活動・生活」を組み合わせた新しい言葉です。もう耳にしたことがありますよね？！

デコ活アクション
色々あるよ！
まずは、あなたが
出来ることから！

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

出典 環境省



「一緒に活動する推進員を募集中」

地球温暖化防止活動推進員に興味のある方！まずは一度お問合せください。地域であなたの活動を広げてみませんか？沖縄本島や宮古島、石垣島の各地で推進員さんが活動を展開しています。推進員の任期は3年。当センターが実施する研修（1時間程度/受講料無料）を受講し、その後、沖縄県知事より委嘱後に活動開始！お待ちしております！



沖縄県地球温暖化
防止活動推進センター
Webサイト



発行：沖縄県環境部環境再生課
那覇市泉崎1-2-2 TEL 098-866-2064 FAX 098-866-2497
お問合せ：沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（一般財団法人沖縄県公衆衛生協会）
南城市大里字大里2013 TEL 098-945-2686 FAX 098-945-3973
URL <https://okica.org> Mail info@koeikyoo.com



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動中

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の活動状況を抜粋してご紹介します。

沖縄県地球温暖化防止活動推進員は、

沖縄県知事から委嘱を受け、県内で地球温暖化の現状及び地球温暖化対策に関する知識の普及並びに地球温暖化対策の推進を図るための活動を行っています！

出前講座のご依頼はお気軽にどうぞ

沖縄県地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」と表記）は、県内の学校や自治会向けに「地球温暖化」をキーワードとして出前講座を展開中！「**沖縄にも地球温暖化の影響があるの？**」「**地球温暖化について知りたい**」、「**子ども会向けに講座してほしい！**」そのようなご依頼は、沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（次ページ下の「お問合せ」先）までご連絡ください。推進員がお応えいたします！！

活動事例1 ソーラークッカーでカレーライスを作ってみよう

開催月：2025年10月 推進員：石川 美乃 さん

「ソーラークッカーでカレーライスを作ってみよう」の講師を務めた石川さん。気候変動によって災害が起こりやすくなっていることから、太陽エネルギーを使った非常食づくりを体験してもらい、災害時の備えを楽しく学べる時間となるよう工夫して実施しました。ソーラークッカーは太陽の力だけで料理ができるため、参加した子どもたちや保護者にとっても驚きや発見があったようです。調理の合間には、気温の上昇や雨の降り方の変化など、いま起きている気候変動や、今後の暮らしへの影響について共有しました。参加者へは、自分たちにできる「緩和策」と「適応策」を考えてもらい、避難場所の確認にも取り組んでももらいました。石川さんは、温暖化や防災を「自分ごと」として捉えるきっかけづくりを目指し今後も活動を展開していく予定です。

開催の様子



コラム

COP30 を知ろう！ 2025.11.10～22 開催地：ブラジル ベレン

パリ協定採択から10年の節目、またアマゾン地域ブラジルで初開催となったCOP30。COPとは、Conference of the Parties（締約国会議）のこと。国際条約を結んだ国が集まり、実施のルール等について話し合う場で最高意思決定機関です。その中の一つ、「気候変動枠組条約」会議にフォーカスします。

今回、「1.5℃目標が危機に瀕している」という現状が大きな論点となりました。現行の各国の対策では、2.3～2.5℃の気温上昇に向かっており、各国のより強力な排出削減行動が求められています。その中で、各国が自主的に設定する温室効果ガス排出削減目標（NDC:Nationally Determined Contribution）の提出が揃っていないという現状があり、未提出国に対する対応を促すことの決定等がされています。COP30は国同士のことで何となく遠いイメージがあります。ただ、その会議は自分たちの生活にも直接関わることに気づくだけでも、一歩前に進めるかもしれません。振り返ると、2025年の夏は日本の平均気温が統計開始以来最も高かったと気象庁は発表しています。COPのように国単位で決定し対策を実行することの他、私たち一人ひとりにも「気候変動に対して出来ること」があるはずです。

活動事例2 生ごみを生かそう、生ごみは宝です

開催月：2025年11月・12月 推進員：金城 順子 さん

「段ボールコンポスト」講座を県内各地で展開している金城さん。豊見城市での講座では、導入とアフターフォローの2回講座を行いました。導入講座では、家庭から出る生ごみの多くが水分であり、それらを燃やすことでCO2が大量に排出される現状を共有し、その課題解決ツールの一つとして段ボールコンポストを紹介。「段ボール箱を使って生ごみが堆肥になること」に驚く参加者は、つくった段ボールコンポストを持ち帰り、各家庭で展開。1か月後のアフター講座では、段ボールコンポストを持ち寄り、観察や問題を共有。参加者からは、「ゴミ袋が軽くなった」、「堆肥を家庭菜園に活用した」などの声が寄せられました。堆肥の出来栄は毎回異なり、参加者同士で工夫や成果を共有することで、地域で学びが深まっています。今後は地域の学童クラブや福祉施設での出前講座、コンポスト堆肥を使った農園での収穫体験など活動の幅を広げていく予定です。

開催の様子



新人推進員さんをご紹介

令和7年度は、6名が推進員として県知事より委嘱を受けました。意気込みをインタビューしました！

①推進員になった動機 ②活動の抱負



照屋 建太 さん

- ① 幼児教育では、子どもが自然と関わる原体験が、将来の環境意識の基盤をつくると考えています。身近な自然に触れ、環境を大切にすることを育むことこそが、地球温暖化防止への第一歩になります。その重要性を広く伝えたいという思いから、推進員として活動する決意をしました。
- ② 大学教育や地域の取り組みと連動させ、子どもたちや学生と共に持続可能な環境づくりを進めていきます。小さな行動を未来につなぐ架け橋となれるよう努めてまいります。

- ① 夏場に京都、大阪を訪れた際、市街地の日中は身の危険を感じる暑さでした。沖縄は海洋性気候のため比較的過ごしやすいですが、これからもっと暑くなるかもしれません。世界の人々が住みやすい環境を守りたいと感じました。
- ② 地球温暖化はスケールの大きい話ですが、まずは身近なところから行動を始め、地域の皆さまと協力しながら活動を広げていきたいと思っています。



三原 正法 さん



伊波 誠了 さん

- ① 社内からの推薦で推進員となりましたが、建築業界も温暖化防止に対する意識を高めていくことが日々強く求められていますので推進員となりました。
- ② 建築の視点から、ZEBやZEHといった省エネ技術を積極的に取り入れ、環境に調和した空間づくりを推進することで地球温暖化対策に貢献したい。地域の自然と文化を守りながら、持続可能な社会の実現に向けて、推進員として活動していきたいと思っています。

「一緒に活動する推進員を募集中」

地球温暖化防止活動推進員に興味のある方！まずは一度お問合せください。地域であなたの活動を広げてみませんか？沖縄本島や宮古島、石垣島の各地で推進員さんが活動を展開しています。推進員の任期は3年。当センターが実施する研修（1時間程度/受講料無料）を受講し、その後、沖縄県知事より委嘱後に活動開始！お待ちしております！



沖縄県地球温暖化
防止活動推進センター
Webサイト



発行：沖縄県環境部環境再生課
那覇市泉崎1-2-2 TEL 098-866-2064 FAX 098-866-2497
お問合せ：沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（一般財団法人沖縄県公衆衛生協会）
南城市大里字大里2013 TEL 098-945-2686 FAX 098-945-3973
URL <https://okica.org> Mail info@koeikyo.com



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

